



かんきょう 環境を守る

組番
名前



資料を見て、()の中の正しいことばに○をつけよう!

★ 水と人々の暮らし ★



上の絵は、^{ちいき}地域の人々による川の^{せいそう}清掃活動の様子だよ。

〈まとめ〉

▶ 川や湖は人々のいこいの場となり、また、川の水や地下水は産業に生かされるなど、水と人々の暮らしには①（浅い・深い）結びつきがある。

▶ 川や湖には植物や動物も多いので、川や湖を守ることは、②（自然・機械）を守ることになる。

★ 工業の発展によるえいきょう ★



左の図と表は、日本で起きた4つの大きな公害について表しているよ。

四大公害の発生したところ



〈表からわかること・まとめ〉

▶ 日本の^{けいざい}経済が大きく成長しはじめたころ、各地で③（公害・地震）が起こるようになった。

▶ 日本で起きた大きな公害のうち、④（^{みなまた}水俣病・^{いたい}イタイイタイ病）は、工場の^{はい}排水によってよごれた貝や魚を食べたことが^{げん}原因で起きた。

▶ わたしたちは、^{かこ}過去に起こった公害などのできごとを次の世代に伝え、

⑤（^{かんきょう}環境・公害）や人々の暮らしを守る努力をすることが大切である。

病名 (発生時期)	原因
① 水俣病 (1956年ごろ)	工場排水にふくまれていたメチル水銀。
② 新潟水俣病 (1964年ごろ)	工場排水にふくまれていたメチル水銀。
③ イタイイタイ病 (1955年ごろ)	鉱山の排水にふくまれていたカドミウム。
④ 四日市ぜんそく (1960年ごろ)	化学工場のけむりにふくまれていた ^{ありゅうさん} 亜硫酸ガス。